

富山県感染症発生動向速報

(2025年第4週分・1月20日～1月26日)

■今週の主な動向

○インフルエンザの報告数は高いレベルで推移しています。

先週から減少したものの、依然報告数が多い状況です。特に小児の報告が多くなっています。次の点をこころがけましょう。

- ①手洗い等の手指衛生、②咳エチケット、③こまめな換気、④適度な湿度(50～60%)の保持

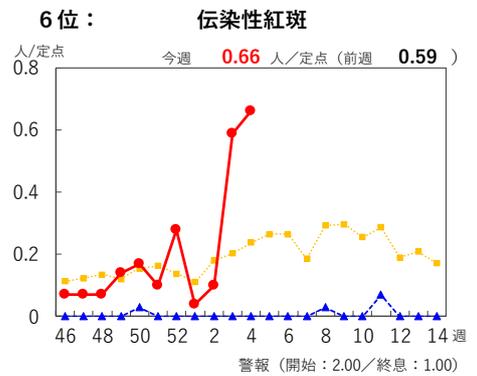
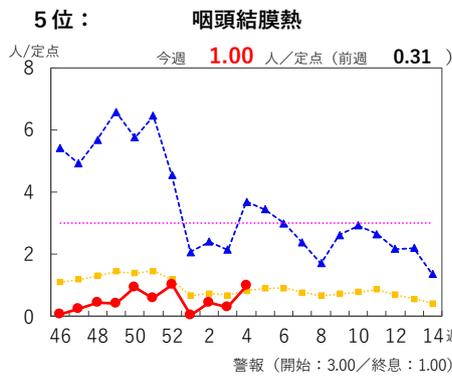
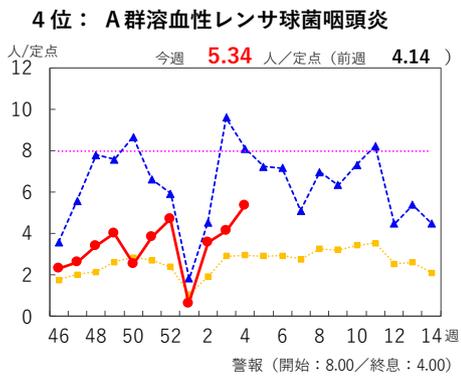
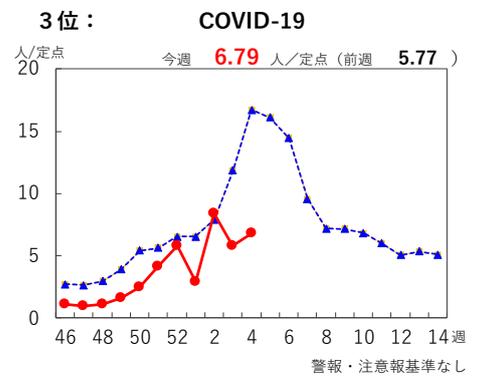
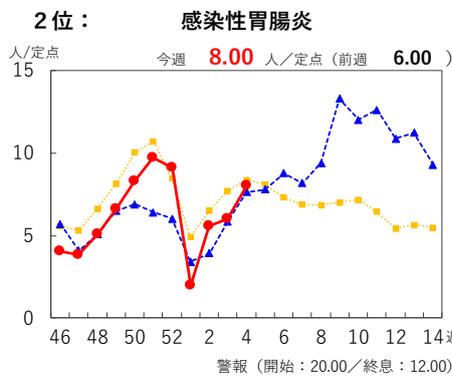
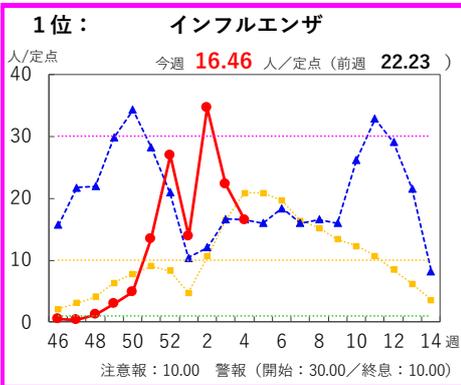
○伝染性紅斑（リンゴ病）の報告数が増えています。

昨年から関東を中心に報告が多くなっていましたが、県内でも報告数が増加しています。妊婦が感染すると流産等の原因になることがあるので注意が必要です。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位6疾患（第4週・1/20～1/26）

警報レベル



●現在 ▲前年 □過去10年平均 —警報 —注意報 - - -流行入り

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

- 四類感染症 E型肝炎 1件（70歳代、男性）
- 五類感染症 水痘（入院例） 1件（40歳代、女性）
- 梅毒 2件（①30歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期
②30歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期）





小児も高齢者も、ワクチンで防ごう！肺炎球菌感染症

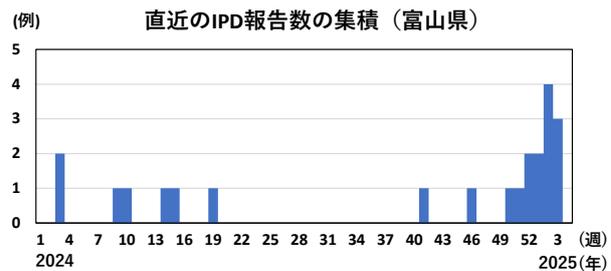
《 インフォメーション 》

● 侵襲性肺炎球菌感染症

肺炎球菌は主要な呼吸器病原性の細菌であり、乳幼児の鼻咽頭に高頻度に保菌されています。本菌は主に飛沫によって小児から大人に伝播すると考えられており、小児や成人に菌血症を伴わない中耳炎、副鼻腔炎、肺炎などの非侵襲性感染症を起こします。一方、本菌はときに髄膜炎や菌血症を伴う肺炎などの侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）を起こします。このIPDは本菌が血液や髄液などの通常無菌的な部位から検出された場合に診断され、2013年以降、5類全数把握疾患に分類されています（経年変化については[2025年第1週感染症発生動向速報](#)を参照のこと）。

富山県では2024年の第3週から第46週までに散発的に9例のIPDが報告されていました。

その後、インフルエンザの流行が始まった2024年第50週～2025年第3週の期間に13例のIPDが報告されました（図）。IPDは季節性インフルエンザ罹患後の二次性細菌感染として発症することが知られており、今回のIPD報告の集積は昨年12月からの県内における



インフルエンザ流行に起因していると考えられます。特に、高齢者においてはインフルエンザ罹患後の二次感染で致命率が高まります。IPDに対しては早期の抗菌薬治療が有効です。また、肺炎球菌ワクチンの接種によるIPDの発症予防、インフルエンザワクチンの接種による重症化予防が重要です。

肺炎球菌ワクチンについては、65歳の方と60～64歳で免疫不全などの基礎疾患を持つ方に対して、23価肺炎球菌ポリサッカライドワクチンが定期接種として使用されています（自己負担有り、接種回数1回）。詳しくは厚生労働省の[高齢者の肺炎球菌ワクチン啓発リーフレット](#)をご確認ください。65歳の方の定期接種の機会には65歳の1年間だけです。接種を希望される方は忘れずに接種しましょう。また、5歳未満の小児に対しては20価肺炎球菌結合型ワクチンが2024年10月から定期接種として使用されており、生後2ヵ月から無料で接種できます（接種回数4回）。詳細については母子健康手帳、自治体または接種を受ける医療機関にご確認ください。インフルエンザワクチンの接種について、65歳以上の方や基礎疾患のある方で接種を受けていない方は、早めの接種をご検討ください。



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第4週 2025年1月20日～2025年1月26日）

分類	疾患	今週報告分（第4週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
全数把握	二類感染症	結核								1	1	1	3
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く								1	1	1	3
	四類感染症	E型肝炎			1			1		2			2
		A型肝炎								1			1
		レジオネラ症								1			1
	五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症								1		1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症										1	1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症								1	1	1	3
		侵襲性肺炎球菌感染症							3	1	1	4	9
		水痘（入院例）					1	1				1	1
梅毒			1		1	2			1		2	3	
インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	76	77	234	137	266	790	697	378	1,158	761	1,146	4,140
	COVID-19	10.86	15.40	18.00	19.57	16.63	16.46						
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	57	35	101	51	82	326	281	128	262	219	248	1,138
	咽頭結膜熱	8.14	7.00	7.77	7.29	5.13	6.79						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		8		2	11	5		12		8	25
	感染性胃腸炎	0.25		1.00		0.20	0.38						
	水痘	7	4	17		1	29	9	5	33		5	52
	手足口病	1.75	1.33	2.13		0.10	1.00						
	伝染性紅斑	8	2	55	8	82	155	18	14	137	24	204	397
	突発性発しん	2.00	0.67	6.88	2.00	8.20	5.34						
	ヘルパンギーナ	21	10	22	25	154	232	75	25	66	64	393	623
	流行性耳下腺炎	5.25	3.33	2.75	6.25	15.40	8.00						
	急性出血性結膜炎		2	1	1	3	7	1	3	2	4	11	21
	流行性角結膜炎		0.67	0.13	0.25	0.30	0.24						
	細菌性髄膜炎												
	マイコプラズマ肺炎												
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）												
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）												
COVID-19による入院患者													
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									3	1		4
流行性角結膜炎			1			1			7				7
細菌性髄膜炎				1		1					1		1
マイコプラズマ肺炎	1		1	1		3	1		5	6	1	13	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1.00		1.00	1.00		0.60							
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）	2	1	3	4	3	13	52	18	37	62	42	211
COVID-19による入院患者		5	6	6	12	12	41	23	34	26	48	67	198

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9月2日）～の集計です。

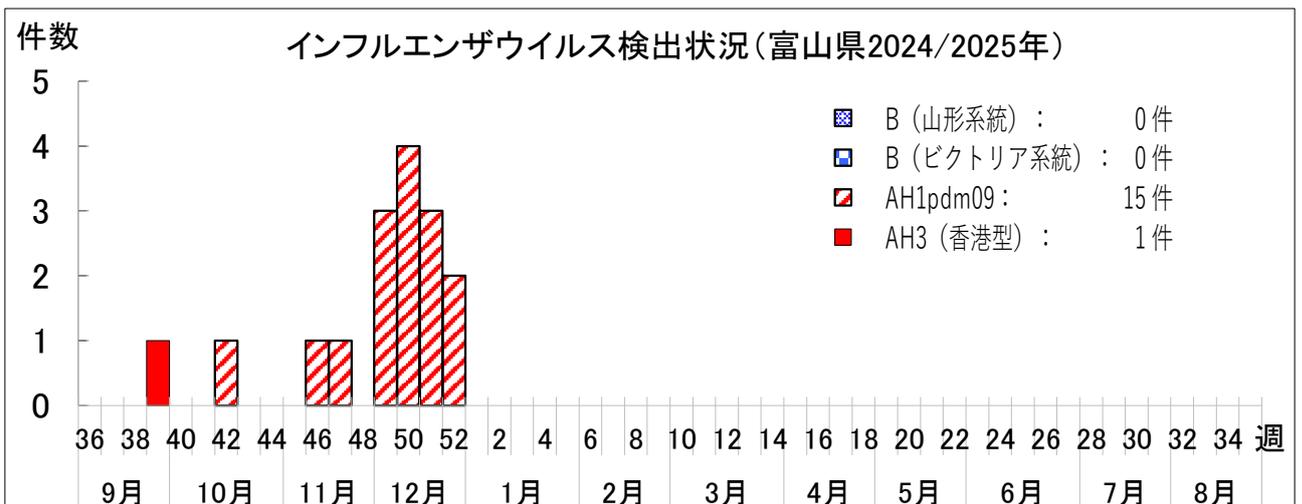
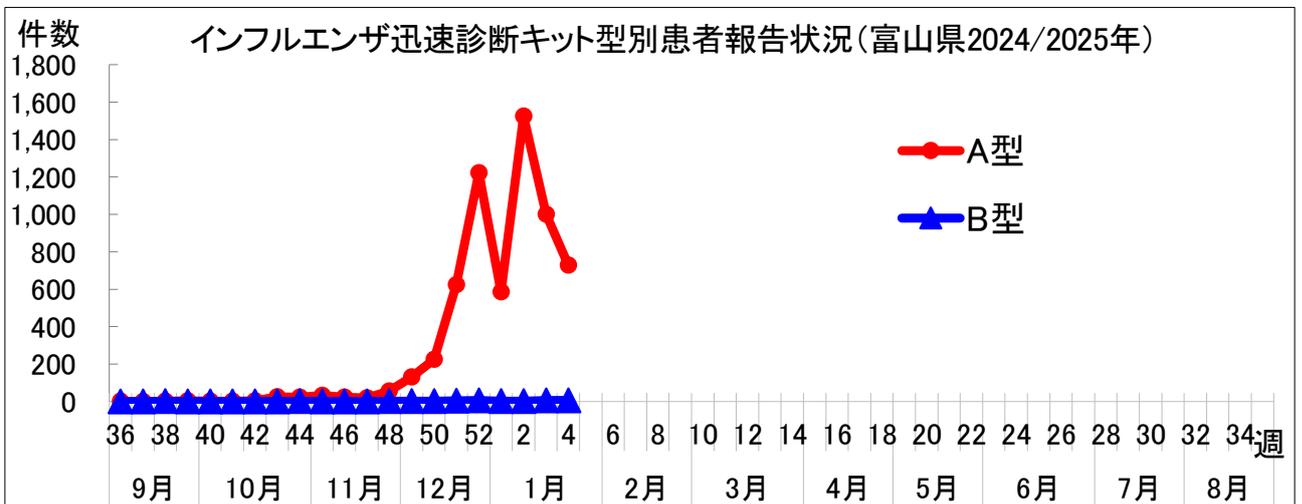
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が92.3%となっています。

第4週(1/20~1/26)：富山県 16.46人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	73	0	3	76
中部	5 / 5	68	0	9	77
高岡	13 / 13	208	5	21	234
砺波	7 / 7	136	0	1	137
富山市	15 / 16	244	1	21	266
富山県	47 / 48 ^{※1}	729	6	55	790
富山県累計(2024年36週~)		6,234	29	391	6,654

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が47か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



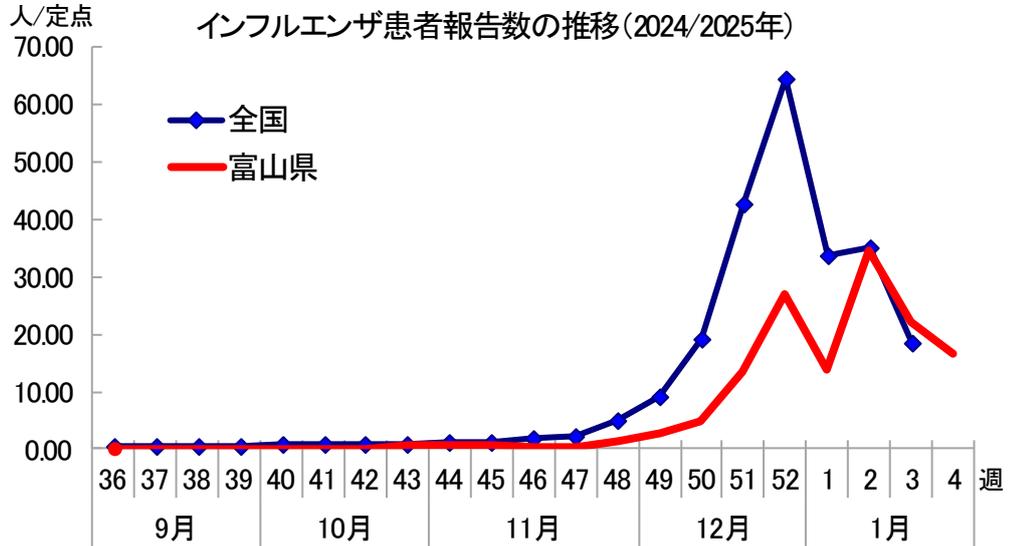


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第4週 (1/20~1/26) : 富山県 16.46 人/定点

新川 HC (10.86)、中部 HC (15.40)、高岡 HC (18.00)、砺波 HC (19.57)、富山市 HC (16.63)

県内では第48週から流行期に入っています。今週の県内の患者報告数は16.46人/定点となり、2週連続で減少しました。

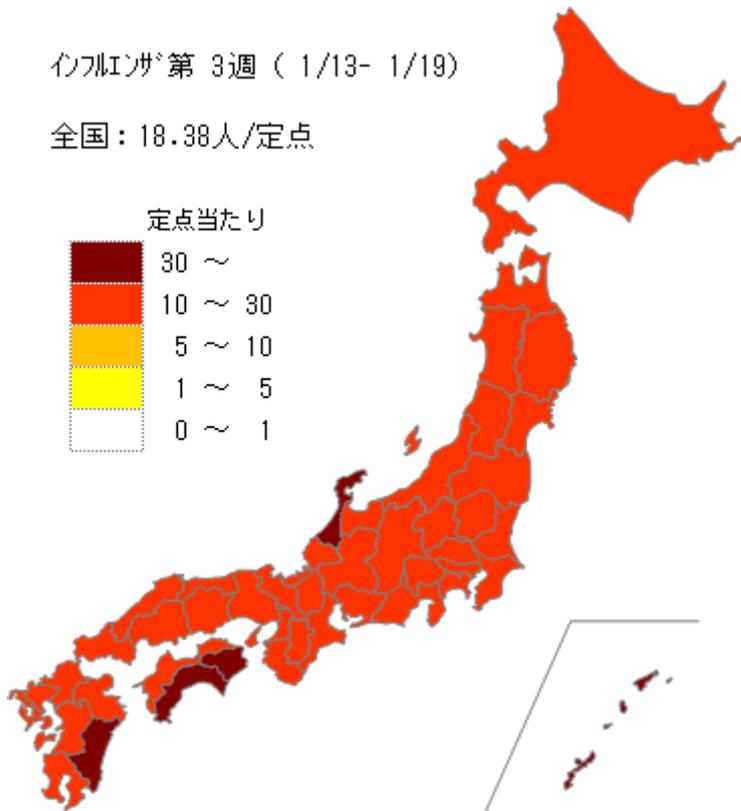


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第3週 (1/13~1/19)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 18.38 人となり、前週の 35.06 人より減少しました。47 都道府県すべてで前週より減少しています。

インフルが第3週 (1/13- 1/19)

全国：18.38人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	12.75 ↓	滋賀県	17.83 ↓
青森県	12.57 ↓	京都府	16.63 ↓
岩手県	21.98 ↓	大阪府	11.84 ↓
宮城県	24.62 ↓	兵庫県	17.25 ↓
秋田県	12.69 ↓	奈良県	17.93 ↓
山形県	26.83 ↓	和歌山県	24.06 ↓
福島県	20.43 ↓	鳥取県	18.24 ↓
茨城県	19.34 ↓	島根県	15.24 ↓
栃木県	18.79 ↓	岡山県	18.68 ↓
群馬県	21.87 ↓	広島県	16.10 ↓
埼玉県	17.74 ↓	山口県	21.30 ↓
千葉県	19.62 ↓	徳島県	30.51 ↓
東京都	10.28 ↓	香川県	25.06 ↓
神奈川県	11.60 ↓	愛媛県	28.02 ↓
新潟県	22.72 ↓	高知県	32.14 ↓
富山県	22.23 ↓	福岡県	17.90 ↓
石川県	31.81 ↓	佐賀県	25.51 ↓
福井県	24.00 ↓	長崎県	25.27 ↓
山梨県	13.95 ↓	熊本県	24.75 ↓
長野県	21.65 ↓	大分県	19.88 ↓
岐阜県	16.38 ↓	宮崎県	31.64 ↓
静岡県	24.23 ↓	鹿児島県	24.53 ↓
愛知県	22.14 ↓	沖縄県	33.30 ↓
三重県	18.51 ↓	全国	18.38 ↓